

## 新事業創出総合支援事業の実施内容とその効果について

(過去2年と新年度の予定)

産業文化部 商工勤労課

新事業創出総合支援事業については、主に市内事業者のデザイン経営の導入、新たなビジネスモデルの創出など、新事業創出を促進する事業を実施しています。

## 1 デザイン経営実践支援事業

デザイン経営とは、デザインの力をブランドの構築やイノベーションの創出に活用する経営手法のことを指します。本支援事業においては、本市に拠点を構え、西日本を中心に多くのデザイン経営の戦略に携わる民間事業者に委託し、それらを実践する人材の育成を支援し、唯一無二のブランド価値の創出や、革新的な商品・サービスが創出されるよう促進し、市内の産業振興に資することを目的としています。

2021年度は3事業者を支援し、そのうち1事業者は実践支援により策定した計画を推進し、今年度商品化に至りました。他の2事業者についても、策定した計画を推進中、またはデザイン経営の思考を活用した事業の実践に取り組んでいます。

また、本年度は2事業者を支援していますが、その取組を広く周知し、他の事業者への波及効果を図るため、オンラインでの成果発表会を3月9日に実施しています。

来年度も、新たな事業者を支援する予定であり、過年度の被支援事業者へのフォローアップも継続し、デザイン思考を活かした事業経営の促進を図ります。

## 【被支援事業者の取組事例】

縁起物の製造をする事業者が、デザイン経営を実践する中で、「縁起物に決まった形はない。時代の流れに沿って現代の各家庭でも飾ってもらえるような縁起物を作り続けたい」という思いから、事業計画では、福箕（ふくみ）を原型としたウォールポケットの商品化を検討し、その後、各家庭のリビングや玄関になじみインテリアとして飾れる新しい縁起物として、商品化が実現。

(裏面あり)

## 2 新ビジネスモデル等創出支援補助金

刻々と変化する経済・社会情勢に適合しようと、地域産業などへの波及効果が期待できる新たなビジネスモデルを立ち上げようとする事業者等を支援するもので、2021年度に制度を開始し、2事業者に対し、各2,000千円（計4,000千円）を補助しました。本年度は3事業者に、計4,000千円の補助金を交付しました。

来年度についても予算額4,000千円を計上し、新しいビジネスモデルの構築により地域への相乗効果を生み出し、事業者同士の連携が図られるよう、本事業を実施する予定です。

### 【補助事業者の取組事例】

土産物（和菓子）の製造、販売事業者が、洋菓子部門参入のため、必要な設備投資をはじめ、オープンカフェを含めたイートインスペースの環境整備を含めた店舗の改修工事を実施。店舗外観は、市内外から地域により多くの人を呼び込めるよう、宝塚のイメージに沿ったデザインで設え、新たな需要を生み出すきっかけとなった。また市内産の農産物を使用した新商品を販売するなど、地産地消や事業者同士の連携を図った。新店舗オープン後は、来客数が大幅に増加している。